



もちっこダンス



フラダンスを披露



4月3日(日)、持留地区農業構造改善センターにおいて、第2回目の『持留さくらまつり』が開催されました。

本まつりは、持留春まつり実行委員会(会長・神野道弘さん)を中心に地域住民と一丸となって開催されたものです。

開催のあいさつでは、神野道弘さんが「第1回目は不安が多い中での開催でしたが、皆さんのおかげで無事に終えることができました。今回も開催できて嬉しいです。今日はバンド・カラオケ・豚汁のふるまい・抽選会など内容盛りだくさんですので、どうぞお楽しみください。」と話しました。



あいさつをする神野道弘さん

特設ステージでは、持留小学校の児童によるダンスや合唱をはじめ、親父バンドによる演奏、日本舞踊など数多くの演芸が披露されました。また、芝居『コウちゃん劇場』では多くの笑い声が響き渡りました。

会場では、出店が立ち並び、ボールすくいや射的では多くの親子が楽しそうに遊んでいました。豚汁のふるまいには行列ができ、アツアツの豚汁に舌鼓を打っていました。

まつりの最後には大抽選会も行われ、終始にぎやかな様子で持留さくらまつりは幕を閉じました。



舞踊を披露



熟練の技が光る親父バンド